

132. 山へ折り谷へ折る地図星涼し (くるみ) 13点  
雀特選／助詞の「へ」の措辞がいいのかどうか迷ったが、山折りにしたり谷折りにしたりして畳む登山地図を思った。山頂の澄んだ大気、満天の星へ思いを馳せる。
65. おはようと言える朝あり広島忌 (からむし) 12点  
砂流特選／世界は絶望と希望の狭間にある。今日という日が、明日に繋がりますように。
66. 山鉾の軋みに辻の沸きにけり (指月) 10点  
潤一特選／軋みに辻が沸くという切り口が新鮮です。
21. 石かがやかす八月の山の水 (智子) 9点  
臺子特選／透き通る山水のつめたさが、残暑の目に肌に伝わってくるようだ。上5の措辞の力だろ。
19. 山が見え我家が見えて青田風 (とちおとめ) 8点  
玲子特選／美しく広がる田園風景が見えてきて、気持ちの良い句だと思いました。作者の家が見えることにもほっとします。
84. 山鳩の朝から鳴いて盆支度 (澤) 7点  
紀子(みちこ)特選／懐かしい山河のようすを彷彿させられました。淡々とした調べも心地よく好きでした。
33. 独り居の母の明け暮れ百日紅 (翠々) 6点  
雀特選／どんな一日だったろうか。単調であろう母の一日に思いを馳せる。盛んに咲き続ける百日紅との対比が際立つ。
47. 目瞑れば熱き耳鳴り広島忌 (雀) 6点  
イネ特選／耳鳴りの底にさまざまな声がひそんでいるのだろうか。
64. 山号は知らず涼風いただきぬ (としこ) 6点  
りりい特選／禅寺か。自ずと畏まる気持ちになる。
89. 館長と挟み撃ちする油虫 (えりこ) 6点  
りん特選／館長と挟み撃ちがおもしろい。大慌てな様子が目に見える。
10. 家ぬちの見えて夜涼のバスの窓 (ぱんだ) 5点  
翠々特選／夜のバスは感傷に浸るのもよし乗り越さないように寝るのもまた心地良い
11. 山上にわかす珈琲秋あかね (冬芽) 5点  
雀並選／赤とんぼの親しさが、さほど高くはない山を思わせる。日頃から山歩きを楽しんでいる作者だろ。